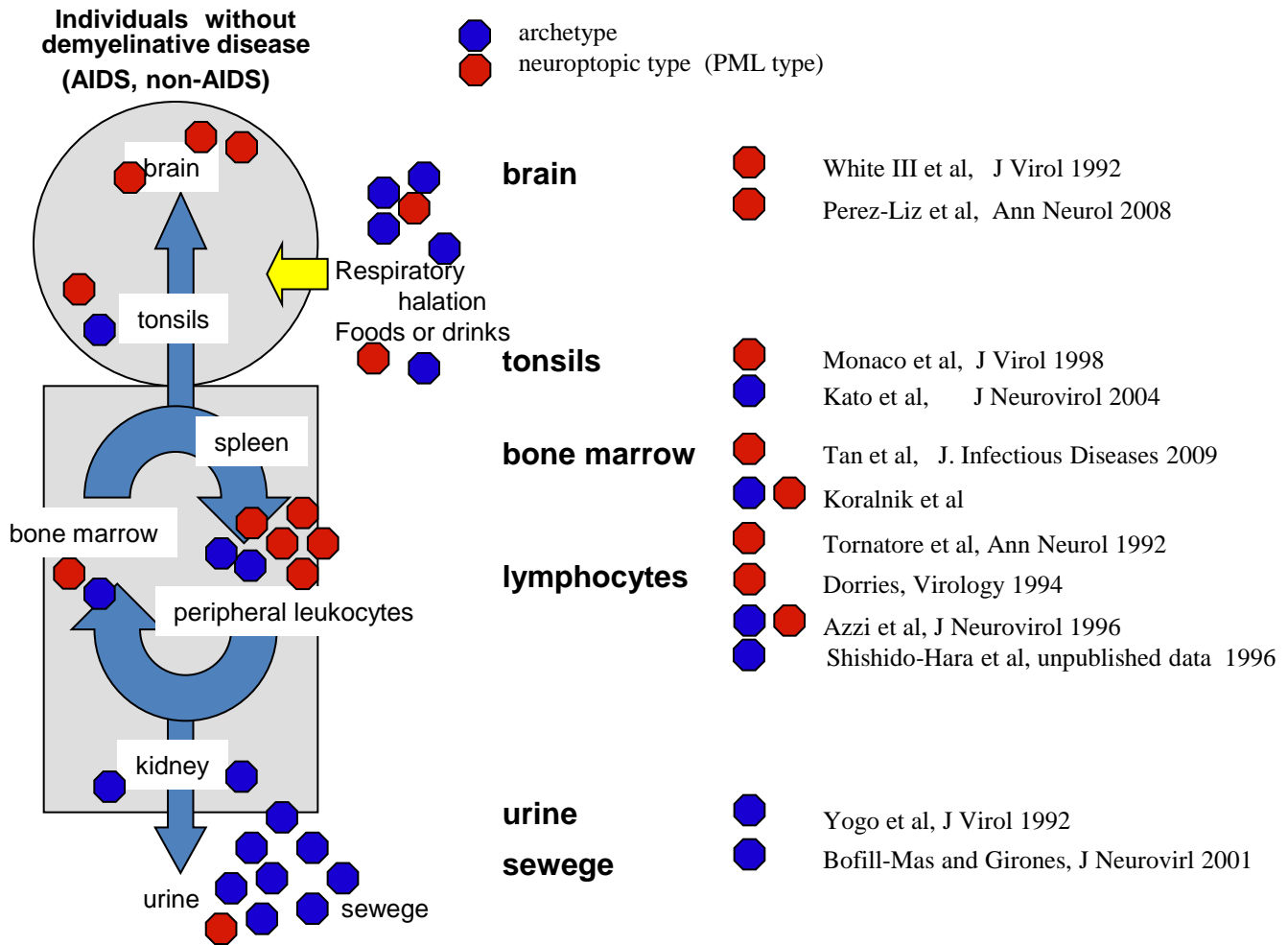


# JCウイルスの潜伏・持続感染のメカニズムは？

研究分担者：杏林大学医学部病理学教室 宍戸-原 由紀子



Shishido-Hara, *Acta Neuropathol*, 2010 120(3): 403-17, 2010より

## 解説

- JCウイルスには、archetype ●とneurotropic type (PML type) ●が存在し、両者はプロモータ・エンハンサをコードする調節領域の遺伝子配列が相違している。
- 人口に蔓延しているarchetype ●は、骨髄や末梢リンパ球などでプロモータ・エンハンサ活性の高いneurotropic type ●に変異し、免疫不全の宿主の脳に移行して脱髄脳症をきたすと考えられている。
- しかしながら、正常脳組織からもしばしばJCウイルスが検出され、脳でも潜伏・持続感染しているのでは？との議論もある。
- この為、脳腫瘍組織からもしばしばJCウイルスが検出されているが、JCウイルスが脳腫瘍発生を誘導するか否かには結論がでていない。